

山北っ子

本年度の合い言葉 『ゆめ』『思いやり』『挑戦』

R 6. 3. 28 山北小学校だより第15号 文責 平川尚子

令和5年度終了 お世話になりました。

校庭の桜がほころび始め、春の気配を感じるようになりました。令和5年度の教育活動が終了します。

振り返ると、コロナ禍を経て久しぶりの1日開催の運動会、森の学校での食育活動の再開、陸上記録会や玉東教育の日の復活等、行事等も充実した1年になったのではないかと思います。家庭科学習では、料理実習も通常とおりに実施することができました。久しぶりの行事や学習もあり、私たち職員も手探りで活動もありましたが、保護者の方と共に、子供ファーストで考え、進めて参りました。改めて、本年度の教育活動にご理解とご協力を頂いたことに感謝申し上げます。

保護者の皆様には、「学校評価アンケート」にもご協力いただきありがとうございました。結果は、3月15日に送信した学校メールに添付しています。概ね、例年並みの評価を頂いたように感じております。これは、家庭や地域の皆様のご理解、ご支援に支えられ、充実した教育活動が引き継がれているおかげです。感謝しております。ご指摘いただいたことなどは、校内で十分に検討して、返答しています。

来年度の教育活動に反映させていきたいと考えています。

1年間、誠にありがとうございました。

終了式、そして卒業へ

21日(木)は、修了式でした。通知表とともに「修了証」を渡しました。義務教育においては「修了・進級」は当たり前と思われがちですが、私は、1つの学年の学びを修了するということは、とても素晴らしいことだと思っています。「修了証」に赤い印鑑がおされています。これは「その学年で学ばなくてはならないことをすべて終わることができました。つけなければならない力が身につきました。どうぞ、次の学年に進んでください。」ということを表しています。

大切に扱い、ご家庭でこの1年間の頑張りをしっかり褒める材料にさせていただけたらと思っています。みなさん、進級おめでとう。



22日(金)は卒業式でした。小学校生活の中盤

がコロナ禍にありながら、6年生は様々な困難に打ち克ち、持ち前の明るさと仲の良さで楽しい学校生活にし、更によりよい学校にしようと行動力を発揮してくれました。そして、学校に活気をもたらし続けてくれました。だからこそ、卒業式は職員・在校生、皆で心から祝える式にしたいと思い臨みました。卒業生が立派な態度で参加し、呼びかけや合唱をする姿に心打たれました。保護者の皆様、4・5年生、来賓、職員にとっても心に残る卒業式になったと思っています。



退職・転任のご挨拶

定期異動等により、3名が退職・転任となりました。又、12月に2名の職員が退職しました。併せて、ご紹介いたします。素直で明るい児童と保護者や地域の皆様の温かい励まし等に支えられて、楽しく勤務できました。ありがとうございました。

転任 教諭 小松凜菜(菊池北小学校へ)
特別支援教育支援員 大山三保(木葉小学校へ)

退職 講師 村上レイ子

講師 田中堅大(12月)

教諭 西村鈴香(12月退職、4月から福岡県系島市立前原小学校へ)

